

## 「学びの教室」

## 振り返るということ

湿度の高い季節がやってきました。特別支援教室を利用する子どもたちにとって苦手な天候が続きます。活動する場所の気温や湿度の適切なコントロール、つまり、環境調整をすることにより、少しは快適に過ごせるようになりますので、気を付けてあげたいものです。

さて、特別支援教室では、振り返る力を高めることに重点を置いた指導に取り組むことがあります。自分が考えたとおりにいかなかったことを振り返る力は、成長につながる原動力になるとされています。一方で、振り返る力が弱いと、似たような失敗をしてしまったり同じ失敗を繰り返してしまったりすることがあります。

このような課題を乗り越えていくためには、最近あったことを思い出して、そのときの様子を話してもらうことがトレーニングの入口となります。しかし、お子さんによっては「う～ん、特に話すことないなあ。」と答えたり、ニュースがあるか尋ねても「別に何にもないよ。ふ・つ・う。」と話を終わらせようとしたりすることがあります。

そんなときに、特別支援教室の連絡シートの「保護者記入欄」に、帰宅後や週末のエピソードなどを記載していただくと、それが手掛かりとなって、徐々に思い出せるようになることがあります。お忙しいとは存じますが、より実効性のある指導のためにも、エピソードなどの記入にご協力ください(足りない場合は、付箋に書いていただいても結構ですし、お子さんの目に触れたくない内容の場合は封をしたお手紙でも構いません)。よろしくお願いします。



## &lt;6月のコミュニケーションタイムの主な学習予定&gt;

## 「天下ボール」

4つに区分けされた陣地の中に、ワンバウンドでボールを打ち込むゲームです。ラリーが続かなくなった時点で順位が一つずつ入れ替わります。勝敗にこだわり過ぎず結果を素直に受け入れる態度を養ったり、目と手の協応を向上させたりすることをねらいます。

## 「リバーシ」

チームで対戦する「ひっくり返しゲーム」です。身体各部位の協応を高めたり、「天下ボール」同様に、勝敗を素直に受け入れる素地を養ったりします。他にも「MAX20」という題材を予定しています。

## ●学習指導要領「自立活動」関連項目

## 4 環境の把握

- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

## 5 身体の動き

- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること